（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	杵原学校魅力発信ブースト事業
事業主体 （連絡先）	山本地域づくり委員会 山本自治振興センター（0265-25-2001）
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大　ア　特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	915,310　円（うち支援金：　689,000　円）

事　業　内　容

１．おもてなしを主体とした桜まつりの変革
・桜の時期の夜間校舎開放を実施。
２．校舎の魅力を高める取組
・水引工芸作品を譲り受け、教室の一つを常設展示場とした。
３．情報発信の取組
（１）ライブカメラの設置
・しだれ桜、校舎、グランドを常時Ｗｅｂ上で公開。
（２）パンフレットの作成
・学校概要、校舎模型、水引展示などを紹介したパンフレット。



【ライブカメラ映像】

事　業　効　果

①夜間の校舎開放は観桜者には大変好評。今後、南信州の一本桜観賞の核施設となる可能性が大いに高まった。
②民間の水引展示が終了してのち、この地域を代表する伝統産業の水引文化を発信する場がなくなっていたが、杵原学校に常設展示できたことにより、地域振興の拠点化がさらに進むものと思われる。
③ライブカメラの設置ができたことにより、南信州地域の南部の桜をリアルタイムに全国発信できるようになった。
水引展示を含めた総合的なパンフレットができたことにより杵原学校の発信が誰にでもできるようになった。

【目標・ねらい】

①おもてなしを主体とした桜まつりの変革
②校舎の魅力を高める取組
③情報発信の取組

※自己評価【Ｂ】

【理由】
杵原学校では様々な取組が行われてきたが、外部への発信は弱かった。施設の魅力向上とＰＲ力の向上が求められているが、本事業により一段階レベルアップできた。

今後の取り組み

引き続き杵原学校の魅力発信力を引き上げていく。
・桜まつりでは、住民主体の抹茶接待、事業者と連携した夜桜コンサートなど来訪者を引き付ける様々な仕掛けを考えていきたい。
・水引常設展示場はできたが、作品は２点のみのため飯田市などから貸与を受け展示作品の充実を図りたい。展示棚の設置など展示方法も工夫したい。
・水引文化の発信拠点として、内外の人々が水引文化を感じ、体験できるような仕掛けを作りたい。
・ライブカメラ、パンフレットを積極的に活用し、桜の時期を中心に来訪者が増加するよう取り組みたい。